



妙高市立妙高中学校

学校だより 第41号

平成28年1月25日

携帯電話用QRコード



年頭に当たって

校長 橋立 英基

明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願いいたします。

例年にない少雪で開催が危ぶまれる中、一部会場を変更して1月6日から上越地区中学校スキー大会が、13日からは新潟県中学校スキー大会が開催されました。地域、保護者の皆様には熱い思いの込めた生徒への指導や声援、また大会運営への多大なるご支援をいただきましてありがとうございました。お陰様でたくさんのお入賞者を出すことができました。まさに地域、家庭、学校がそれぞれの役割を担うことで協働し、生徒が生き生きと活躍する姿がそこにはありました。



さて、日常の学校生活や各種行事など様々な場面において、1年生をはじめとする妙中生の確かな成長を嬉しく実感した2015年。2016年もさらなる成長を期待するところですが、特に今年は学習面での成長を目標にしたいと考えています。

3学期の始業式では、「勉強して知らなかった世界を知ることが本来楽しいことである」と生徒に話をしました。それが学びの本質であると確信しています。私も「勉強は将来のために文字どおり『勉強して強くなる』ものだ」と思っていてずっと勉強していました。しかし、高校、大学と学ぶ内容の専門性が高くなるにつれ、学習そのものに興味や関心をもって学んでいる同級生たちには太刀打ちできなくなっていました。好きこそものの上手なれ。「勉強は楽しくない」と思っている生徒は固定観念や先入観を捨てて、心も新たに勉強に取り組んでほしいと思います。職員も興味・関心を喚起する教材の提示、学ぶことが楽しくなるような課題や学習過程の工夫に努めていきます。

とはいえ、3年生は勉強が好きとか嫌いとか言っている場合ではありませんね。希望の進路実現という目の前の目標のために頑張らなければいけないときがまさに今です。スタンフォード大学の人間の行動に関する実験・調査によれば、将来のより大きな成果のために現在の欲求を辛抱する能力は生涯にわたって継続され、人生の成功につながる傾向があるとのことでした。

2016年がすべての生徒にとって充実した年になることを祈念します。伸びしろ日本一、頑張れ妙中生。

【きらり輝く生徒の瞳 フォトギャラリー】 ～生徒の活躍を紹介します～

1月6日（水）～8日（金）に行われた地区スキー大会での生徒の活躍！



< 中尾 >